

一般社団法人 Nurse for Nurse

年間報告書



Nurse for Nurse
Connect and Discover



ご挨拶



Nurse for Nurseをご支援いただき ありがとうございます。

2021年9月の設立から1年、3名で運営して参りましたNurse for Nurse(NfN)が1周年を迎えることができました。皆様方のお力添えとご声援のお陰でございます。心より感謝申し上げます。

NfNの構想を抱いてから約2年になりますが、多くの看護職の方々にアンケート調査やヒアリングを通して、このようなサービスを待っていました、楽しみにしています、というお言葉をいただく度にそれを勇気と力に変え取り組んで参りました。

2022年6月により招待制による会員登録を始めることができ、8月には紹介制による会員登録を開始しました。また、9月16日のNfN創業1周年の日にオンライン・キャリア相談事業をスタートさせることができました。

まだまだここからがスタートです。入会してくださった会員一人ひとりの想いを大事に、これからもしっかりとビジョンを見据えた取り組みを続けて参りたい所存です。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

2022年9月

門元記子（代表理事）
二田水彩（理事）
川添高志（理事）

法人設立にあたって

NfNは2021年9月の法人化にあたり団体の事業内容を吟味すると共に、大切にすること (Values) や目指すゴール、ビジョン、ミッションも明確にしました。そして、それを最もよく表す団体ロゴをデザイナーの方と何度も検討を重ね制作していただきました。

Values

01. 誰一人取り残さない

Leave No One Behind

看護職の活躍は、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) の保健医療関連 (SDG 3) のみならず、ジェンダー平等 (SDG 5)、働きがいのある仕事・経済成長 (SDG 8) にも貢献します。私たちは看護職一人ひとりの課題は社会の課題と位置付け、看護職誰一人取り残さないよう努めます。

02. 多様性と公平性、そしてインクルージョン

Diversity, Equity, and Inclusion

看護職はプロフェッショナルであると同時に一人の人間でもあり、喜びや悲しみ、時には苦しみを抱えながらそれぞれの人生を生きています。私たちは一人ひとりの様々な背景や置かれた状況、立場、考え、経験、価値観、目に見える違いと見えない違い全てを尊重し受け入れ、公平でインクルーシブな環境を整えます。

03. 看護の分野横断的につながりによるイノベーション

Multidisciplinary Innovation

看護の分野横断的につながり及び助け合いを基にした知見や経験の共有はクリエイティビティを生み出します。私たちはそれらを大切に社会におけるあらゆる課題解決のためのイノベーションを共創します。

Goal

社会において看護および看護職に対する投資を促進し、看護職の活躍によって社会の前進に寄与します。

Vision

看護職同士が助け合うことでローカルおよびグローバルな課題解決を導き、人々の健康が維持・増進される社会を実現します。

Mission

私たちは看護職同士が分野横断的につながり (Connect)、新たな発見 (Discover) を通したキャリア開発の機会を提供します。



ロゴに込めた思い

丸い地球上の各地に点在する看護職 (点) が「NfN」を通してつながり (Connect)、助け合うことでコミュニティ全体が右肩上がりに上昇していくイメージを描いています。複数の色合いのグラデーションは新しい分野や世界の発見 (Discover)、解決策を見出していくと同時に自分自身を発見するのを表すと共に、看護職の様々な背景を尊重する Diversity, Equity, and Inclusion の概念も含んでいます。よって、Nurse for Nurse の「N」は右肩上がりのデザインとし、タグラインを Connect and Discover としました。

ご賛同者・ご支援者の声



山本 則子

東京大学大学院

高齢者在宅長期ケア看護学分野教授

これからの時代、看護の人間観やアプローチが社会を大きく変えると感じています。さまざまな個性を持った看護師が助け合うことによってより力を発揮し、社会貢献できるようにするこの取り組みは素晴らしいと思います。



安井元規

システムエンジニア・患者

私は8年前に再生不良性貧血・ファンconi貧血治療のため骨髄移植を行いました。その際に、看護師の皆さんには治療や退院後のキャリアなど多くの相談にに応じていただきました。患者はいくらでも看護師さんに相談することができますが、その看護師さん自身の悩みを共有し合い、相談し、前進する場がこの「Nurse for Nurse」と設立メンバーの皆様より伺い、共感しました。応援しています。



本田 和也

国立病院機構 長崎医療センター
診療看護師

看護職の抱える課題の解決、キャリア構築は、前提として看護職個々の努力や能力育成も必要だと思っています。一方で、その課題を誰かと共有し（つながり、助け合い）解決に導こうとする看護職の姿勢・行動も、いま・これからの時代は「特に」重要となります。看護職の未来、助け合える持続可能なコミュニティのために、私も、NfNの「つながり、助け合い」の支援をさせていただきます。



働き方改革によって、看護師の働き方も今まさに大きく変わってきています。そのような中で、NfNが提供するサービスによって、日々奮闘している看護師の皆さまの成長、働きがい、キャリアの機会創出が実現されることを期待しています。

ポッドキャスト

ポッドキャストNurses Change the Worldでは、様々な看護領域でご活躍されている看護職の方々をその時々時代のニーズに合わせてゲストとしてお招きします。そして、そのお仕事や取り組み内容、魅力、どのような形で社会の課題解決に挑戦されているのかなどを伺いました。2022年2月に公開し、全8エピソードあります。

なぜ救急医療から地域医療のNP
(診療看護師) になったのか？



Takashi Kawazoe
Nurse for Nurse 理事

&



Tomoe Hashi
ゆみのハートクリニック
プライマリNP (診療看護師)



Nurse for Nurse
Connect and Discover

米国での挑戦: 看護師資格取得から素晴らしい仲間と働く今、そしてこれから



Ayo Nitamizu
Nurse for Nurse 理事



Eriko Harada
Sutter Health Fremont
Center Urgent Care/
Registered Nurse (米国)



Nurse for Nurse
Connect and Discover

目でみるNfN*

NfNでは分野横断的に看護職同士がキャリア開発において助け合える持続可能なシステム構築を目指しています。サービスとしては看護職**である会員同士がお互いのこれまでの経歴を共有し合えるデータベースの提供、看護エキスパートを含む会員同士のオンライン・キャリア相談の実現等です。

会員数は徐々に伸びつつありますが、NfNのミッション・ビジョン・ゴール達成にはまだまだ道のりは程遠い状況です。しかし、会員の生活／活動拠点、年齢層、男女比、関心領域を見ると、地域を超えて、世代を超えて、確実に分野横断的につながる基盤ができつつあります。今後も様々な分野の看護職にお声がけしながら会員登録を呼びかけて参ります。

会員の生活／活動拠点	
国内	海外
関東・中部・近畿・九州沖縄	ヨーロッパ・アジア・アメリカ
年齢層	
30-40代を中心に、50代・60代の登録もあり	
男女比	
1：3	
関心領域	
看護管理・政策・国際看護・産業保健・保健行政・精神保健・がん看護・母子保健・老年看護・在宅看護・災害看護・学校保健・看護教育・急性期ケア・小児看護・公衆衛生・疫学・地域看護など	
賛助会員（法人）	賛助会員（個人）
1	2



Facebook（1月31日開設）
143 いいね！



Twitter（4月26日開設）
40 フォロワー
@NurseforNurse



ポッドキャスト（2月8日開設）
再生数 183
<https://anchor.fm/nursefornurse/>

*情報は8月31日現在

**Nurse for Nurseの「看護職」の定義は日本国の保健師・助産師・看護師免許保有者です。当法人の会員は「看護職」であることを条件としておりますが、海外の看護職資格を保有する方など、当法人が別に認めた者を会員として認めることがあります。

会員の声

”

「若い皆さんやこれからの社会の為に関わっていきたく思っています。」

”

「現在育児中なので、子育てとキャリアについて一緒に考えられたら嬉しいです。」

”

「看護師同士がキャリアについて情報収集や相談をしあえるプラットフォームは素晴らしいと思います。」

”

「キャリア開発に興味があります。看護師同士で、広くつながりを持ちたいです。」

キャリア相談で会員の方がお話できることの一例

40代からの復職

治験・CRCについて

妊活、不妊治療との両立

海外への大学院留学について、その後の国内でのキャリアについて

病院から一般企業に転職することについて

大学教員の仕事について/大学教員としてのキャリアパス

専門・認定看護師・NP等を目指すことについて

災害時の医療について（急性期～慢性期まで）

海外への進学や移住、看護師として働くこと

保育所・認定こども園で働くことについて

小児看護専門看護師について

看護以外の学問領域への進学・研究について

子育てとの両立

コーチングやコミュニケーションを含め、自分や他者を効果的に活かすことについて

国際看護または国際協力について

カリフォルニア州での看護師資格取得/就職活動について

看護研究について

”

多様な看護職のキャリアがあるはずなのにまだ病院中心に考えられているように感じます。このような団体を創設してくださりありがとうございます。

NfNでは、7月に看護職を対象とした説明会、8月には看護エキスパート候補者を対象とした説明会をそれぞれ2回開催し、計15名の方にご参加いただきました。また、紹介者がおられない入会希望者とは個別面談を通してお話の機会をいただきました。

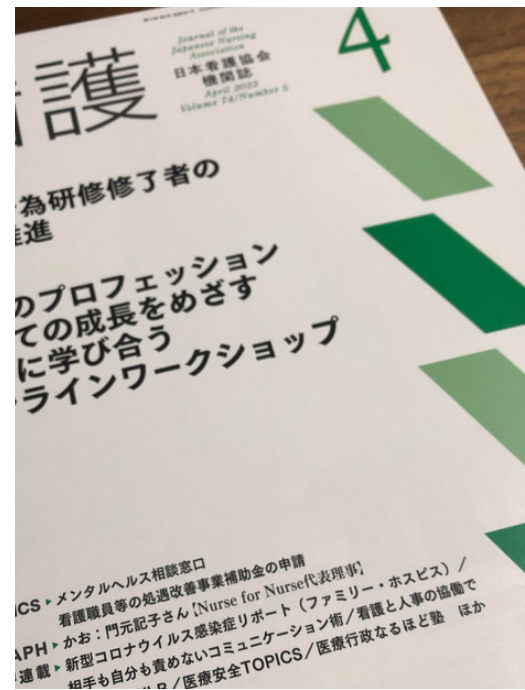
「他の看護職とつながりたい」、「夢に向かって挑戦したい」、「自分の専門性を伝えたい」、「同じ志の人と話がしてみたい」等々、様々な想いが溢れています。

NfNはこれからもこのような方々の想いを大切にConnect and Discoverというミッションのもと看護職同士がキャリア開発においてつながり、新たな発見を実現できる機会や場を提供して参ります。

メディア掲載

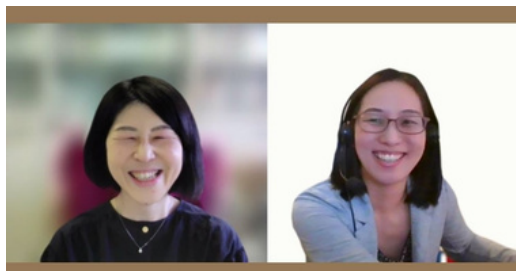
NfNでは下記の看護系雑誌に紹介記事を掲載していただきました。

- 初めまして Nurse for Nurse(NfN) スタートしました (日本看護連盟の機関誌『アンフィニ』・2022年3月)
- 看護職同士、キャリアに関する信頼できる情報を発信、共有し、相談できる場をつくる (日本看護協会出版会の雑誌『看護』の巻頭連載「かお」・2022年4月号)
- 看護のベンチャービジネスを創る挑戦者たち「看護×つながり」(株式会社メヂカルフレンド社雑誌『看護展望』・2022年7月号)



講義依頼

NfNでは看護大学の学生に向けた講義だけでなく、看護に関心のある名古屋市内の高校生に対して看護職の仕事やその活躍の幅の広さについてお話する機会をいただきました。



2022年4月：Nurse for Nurse代表理事の門元が横浜市立大学医学部看護学科の授業「看護の「知」を活かす」にビデオで登壇しました。門元のこれまでの途上国や国際機関での経験、現場の話から様々な社会課題について、そしてNurse for Nurse設立に至るまでの経緯をお話しました。



2022年5月：Nurse for Nurse 代表理事の門元が大手前大学国際看護学部のカリヤ形成に関する授業にゲストスピーカーとして登壇しました。授業では門元自身がこれまでの経験を踏まえてカリヤ形成において大事だと思うこと3つについてお話しさせていただきました。

講義の後にはグループに分かれ、それぞれが「カリヤ形成で大事だと思うこと」を話し合ってもらい、それらが何故大事だと思うかも含めた発表をしていただきました。学生からは「情報収集」「経験」「自分の思い」「学習意欲」「向上心」「夢を明確にする」「財力」「主体性」「広い視野」などが大事なこととしてあがりました。

講義を受けた学生の皆様からいただいた感想は下記の通りです。

- 今までカリヤ形成とはどういうことか、あまり分かっていなかったけど、話を聞いて理解することができた。ただ自分の夢を思い描くだけでなく、その夢に向かって考え、行動することの大切さを学べた。
- 看護師というカリヤの中で、様々な経験をつみ、一般的なライフステージにあったような働き方ばかり思い浮かんでいましたが、自分の興味を持ったことに果敢に挑戦されている姿に感動し、私もやりたいと思ったことに思い切って挑戦しようと思いました。

また、Nurse for Nurse (NfN) についても下記のような感想をお寄せいただきました。

- Nurse for Nurseの活動を初めて知り、自分のこれからの経験、人の経験などを共有し話し合い、より良い看護、医療に向けて活動するのに壁はないということに感銘を受けました。
- NfNの人とのつながりというのが心に残っています。色々な課題を解決するために、看護職同士が助け合い、意見を交換し合うことで解決に繋げるのはすごく良いと思いました。



2022年6月：Nurse for Nurse 代表理事の門元と理事の二田水が名古屋市立高校「オンライン職業人講話」に登壇し、「看護職の仕事と多様なキャリア」と題した講話を実施しました。

講話では門元・二田水それぞれのキャリアを紹介しつつ、看護職の仕事の紹介だけに留まらず、その活躍の幅広さについてもお話させていただきました。また、NfNの活動紹介を兼ね、看護の視点を活かした社会課題の解決への取り組みについてもお話をさせていただきました。そして、質疑応答の時間では事前に頂いた多数の質問に可能な限りお答えしました。

本講話は「名古屋市立高等学校及び特別支援学校におけるキャリアサポート事業」の一環として実施され、国家資格を持つキャリアコンサルタントが校内で「キャリアナビゲーター」としてキャリア教育の推進やキャリア形成支援を行っています。当日は名古屋市立高校7校から50名を超える生徒の皆様にご参加いただきました。

生徒の皆様の感想

看護師というと「病院」で働くというイメージがあったのですが、同じ看護職でも働く場所がたくさんあると知って自分に合うところを探すことの大切さが良くわかりました。

お二人のお話から「看護職を選択するという人生」というところまで考えられました。

これから看護師に求められることや自分が知らなかった課題があることも分かり、将来看護師として働くときに活躍できる場がたくさんあることに改めて魅力を感じました。

1年を振り返って

法人設立にあたっては行政書士、税理士の先生方と何度も協議しながら進めて参りました。NfNは一般社団法人（非営利型）ということもあり、ご支援いただく専門の方を見つけられるまで一筋縄ではありませんでしたが、おかげ様で現在に至ることができました。

サービス設計にあたっては会員の皆様にとって安心・安全であることを第一に考え、法的な視点からも弁護士の方にご助言をいただきながら進めて参りました。

また、NfNサービスの要である会員サイト構築に向けても情報収集と検討を重ね、最終的に信頼できるシステム・エンジニアの方々に依頼することができました。

NfNの事業は主に看護職を対象とした内容ではありませんが、ご縁に恵まれ、看護学生や看護を目指す高校生へお話をさせていただく機会もいただき、NfNの可能性や事業の重要性について再認識する機会もいただきました。

さらに、5月12日「看護の日」には「#私のNurseforNurse」と題したSNSキャンペーンを実施し、「ご自身に影響を与えた看護職は誰ですか？」という投稿を募集しました。そして、ナイチンゲールが多くの看護職へ影響を与えたことから、現代の看護職がキャリア開発において他の看護職からどのような影響を受けているのかを発信しました。

いよいよ会員登録が始まり、NfNはここからがスタートです。ミッションである分野横断的に看護職同士がつながり、キャリア開発において支援できる持続可能なシステム構築に向けて引き続き精進して参りたい所存です。

「#私のNurseforNurse」キャンペーン

看護師になったのは幼少期からずっと見てきた看護師の叔母2人と母のおかげ。あとは新人の時の師長さん。厳しい師長さんだった。でもね、患者さんのことを一番に考えて患者さんの思いに寄り添う看護、家族への寄り添い方を教わった。在宅で支援したいと思ったのはこの時だったな。

看護学校の時の先生です。授業で自身のキャリア形成について話して下さったことが今でも鮮明に覚えています。愛のある厳しい先生でしたが、私もそんな“人”でありたいとずっと思っています。

【新人時代の先輩】“宇宙人”だった私。根気よく教育し可愛がってくれた先輩。心が折れそうな時、倒れた背中をさすり再起を信じて支えてくれた。人間力を教わった。「看護大好き・天職」が口癖、患者さんからも大人気。それぞれの道を進んだ今でも、私は先輩の背中を追っています。

来期に向けて

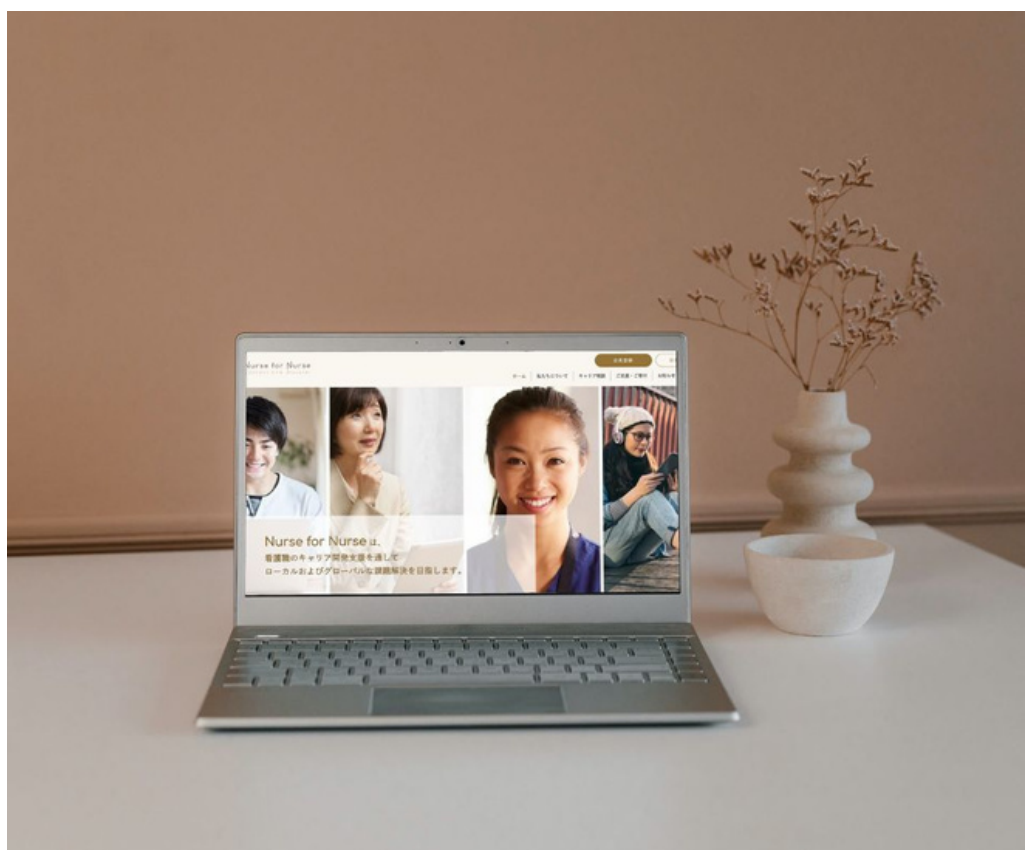
NfNは看護職のキャリア開発支援事業を通してローカルおよびグローバルな課題解決を目指しております。そして、それによって人々の健康が維持・増進される社会になるだけでなく、社会の前進に寄与することを目標としています。

来期は赤い羽根共同募金の助成金による「医療的ケア児・重症心身障害児等とその家族を支援するための看護職を増やす事業」を当事者団体であるNPO法人みかんぐみより業務委託を受けて実施いたします。本事業はこの領域での看護職のキャリアを考えるウェビナーに始まり、オンライン・キャリア相談、見学プログラムにて構成されています。

医療的ケア児支援法が施行されてから1年、支援の拡充に向けて教育や福祉など様々な分野で、ケアの担い手である看護職が益々必要とされています。一人でも多くの看護職・看護学生・一般の方にこの社会課題や看護職の活躍について知っていただくとともに、本領域でキャリアを歩む看護職が増えることを願っています。

また、キャリア相談事業も始まり、会員同士の交流会や看護職を対象としたセミナー等も企画しております。これら事業を通してNfNについてさらに理解を深めていただき、ご賛同いただける方の輪を広げて参りたいと思います。

NfNのゴールである、看護や看護職への投資を促進することで社会を前進させる、という高い目標に向かって皆様のご支援をいただきながら進んで参ります。1年間のご支援に心からの感謝を申し上げますと共に、2年目のNfNも何卒よろしくお願い申し上げます。



nursefornurse.org



Nurse for Nurse
Connect and Discover



一般社団法人Nurse for Nurseは
持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

3 すべての人に
健康と福祉を



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も

